

2022年2月9日

キングスカイフロントで Tokyo United Network for Innovation with Technology and Entrepreneurs (T-UNITE) 関連のオンラインイベントを開催

看護・ケア現場からのイノベーションの創出—地域リソースを活かして—

本オンラインイベントは、神奈川県立保健福祉大学実践教育センターの学生たちのニーズから、キングスカイフロントならびに川崎市の企業をはじめとする地域資源を活用したイノベーションのシーズ創出を目的として開催されました。

本イベントは、川崎市と神奈川県立保健福祉大学が主催し、JST 社会還元加速プログラム (SCORE) ならびに Tokyo United Network for Innovation with Technology and Entrepreneurs (T-UNITE) が共催しました。また、川崎市産業振興財団が、キングスカイフロントと川崎市間での産官学連携を支援しました。

キングスカイフロントでのイノベーション創出に向けて、今後もこのようなイベントが開催される予定です。

本イベントは、T-UNITE、川崎市産業振興財団、ならびに神奈川県立保健福祉大学実践教育センターの代表者による挨拶により始まりました。

<代表者リスト>

- 大野 高裕 (T-UNITE プログラム責任者・早稲田大学理工学術院教授)
- 三浦 淳 (公益財団法人川崎市産業振興財団 理事長)
- 大谷 泰夫 (神奈川県立保健福祉大学 理事長)

基調講演では、川崎市健康安全研究所の岡部信彦所長が、「感染症の時代における看護・ケア現場への期待」と題する講演を行いました。

続いて、「地域のリソースの可視化を目指して」というテーマの下、関連各機関による発表が行われました。

<発表者リスト>

- 高梨 憲爾 (公益財団法人川崎市産業振興財団 殿町キングスカイフロントクラスター事業部 部長)
- 石原 美和 (神奈川県立保健福祉大学実践教育センター長兼保健福祉学部教授)
- 鄭 雄一 (神奈川県立保健福祉大学副学長兼ヘルスイノベーション研究科長)

次に、神奈川県立保健福祉大学実践教育センターの松永早苗実践研究担当課長兼保健福祉学部准教授より、「感染症対応に関する看護・ケア現場の困りごと」ワークショップの結果が報告されました。

その後、パネルディスカッションが行われ、早稲田大学理工学術院の朝日透教授の閉会挨拶をもって本

イベントは終了しました。

<パネルディスカッション参加者>

・モデレータ

鄭 雄一（神奈川県立保健福祉大学副学長兼ヘルスイノベーション研究科長）

・パネリスト

加藤 聖隆（Landing PAD Tokyo Executive Director）

間島 哲也（川崎市臨海部国際戦略本部 担当課長）

岡部 信彦（川崎市健康安全研究所 所長）

高梨 憲爾（公益財団法人川崎市産業振興財団 殿町キングスカイフロントクラスター事業部 部長）

石原 美和（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター長兼保健福祉学部教授）

詳しくはウェブサイト（日本語）をご覧ください。

https://www.shi.kuhs.ac.jp/news/details_01297.html